

《担当者名》常田 美和 [tsuneta@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

母性看護学で用いられる理論、看護介入とそのアウトカム評価・測定方法など自らの関心事に関連する母性看護学領域について学習し、母性看護の実践や研究に必要な科学的思考を身に付ける。

【学修目標】

母性看護の関心領域を特定し、その領域における研究動向を概観するとともに研究成果を踏まえた当該領域の今後の研究課題を明らかにすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	文献検討の実施 1	学生の関心領域における先行研究を概観するために、国内外の文献を収集し、クリティークする。	常田
3) 4	文献検討の実施 2	学生の関心領域における先行研究を概観するために、国内外の文献を収集し、クリティークする。	常田
5) 8	関心領域における中心概念や理論の整理	学生の関心領域における先行研究で用いられる理論や中心的な概念を分析する。	常田
9) 15	まとめと今後の研究課題の明確化	文献検討の内容を踏まえて、当該領域における、今後の研究課題を見出す。	常田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ディスカッション(30%)、プレゼンテーション(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

開講時に案内する

【参考書】

随時紹介する

【学修の準備】

事前に指定された課題に該当する文献を読み、課題に沿ったプレゼンテーションの準備をして講義に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。